

《発行：年4回》  
春号・夏号・秋号・冬号  
《ご意見・お問い合わせ》  
奈良県鉄構建設業協同組合  
まで



奈良県鉄構建設業協同組合  
【事務局】  
奈良県橿原市十市町1037番地  
TEL:0744-25-7519  
FAX:0744-25-7493  
E-mail:nara.sfa@kcn.jp

## 理事長コーナー

朝晩は涼しくなってきましたが、我々鉄工業界には暑く  
厳しい作業環境が続いています。

手持ちの仕事量もまだまだ多く、納期に追われ、毎日、  
綱渡り状態の工程ですが、トラブル発生の際は皆さんに助  
けて頂いて、なんとか綱から落ちない状態です。

組合関係の現在の状況は、全構協の委員会も、今までの  
運営委員会、技術委員会に加えて、雇用対策委員会と不況  
対策委員会の特別委員会が設置され、近畿支部会は支部長  
が、滋賀の籠谷理事長が支部長に選出され、動き出して  
います。今後、進展がありましたら、また次回の「ならてつ  
ニュース」でお知らせします。

写真は浅草寺の御朱印です。



## 「3D専用CAD」

有限会社 広陵鉄工

石川 峰弘

バ  
ト  
ン  
タ  
ッ  
チ

8年前にCADを購入しようと考え、2~3社の内からドッドウェルのREAL4を購入しました。他社より値段は少々高いですが、3Dの魅力で決断。施工図の作図に当たり、まだ鉄骨作業のほとんど出来ない息子に、山口県にあるデータロジック社へ2日間の使い方の講習会へ参加させました。最初の仕事はというと「50m2 くらいの守衛室の鉄骨工事」。屋根は寄せ棟、横母屋ありと経験者でもちょっとたじろぐ物件。本人は「鉄骨のイメージすら、全くわからない」とのこと。それでもなんとか講習会の教えてもらった操作方法で図面を書く。施工図は出てきたものの「あっているのか?」と聞くと「わからない」。3Dを見ると屋根の寄せ部はあっているように見える。母屋も3Dで見るとあっているみたいだ。鉄骨加工にあたり、プレート番号、寸法、角度、その他データどおりに加工する。鉄骨組立にあたり、本体は完璧に出来上がった(失敗なし)。母屋も95%以上OKである。改めてCADの力はすごいと思いました。

CAD導入後、鉄骨工事の失敗の少なさに感謝、感謝。私はドッドウェルのまわし者です。

次のバトンタッチは宮本鉄工(株)の宮本社長、お願いします。



教育・認定事業委員会より

委員長 藤田英輝

めっきり涼しくなってきましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？

去る9月16日に八木の「たち花」にて委員会を開催いたしました。夏場の忙しさも一段落といったところで、久々に皆で楽しいお酒が飲めました。

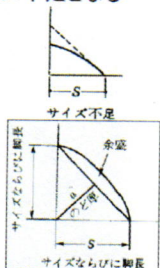
先日、鉄骨工事管理責任者の更新講習で知ったのですが、日建連のHPに「不具合事例から学ぶ鉄骨工事管理のポイント」といったものがUPされています。工場製作や現場施工の各場面において不具合の事例を写真で紹介し、どこが悪いのか、どのようにすべきかが記載されています。内容を見てみると、確かにこれは悪いといったものが多いですが、なかには「そこまで言わなくていいじゃないの～」といった私達にとって都合の悪いものもあります。でもそこはやっぱり「ダメよ～ダメダメ！」ということで、社員教育の資料とし、信頼度の高い鉄骨を作っていきましょう。

不具合事例から学ぶ鉄骨工事管理のポイント

すみ肉溶接部の不等脚



すみ肉のサイズは両脚長とも設計値を満足する必要がある。片方の脚長が大きすぎて、もう片方が規定より小さい場合はサイズ不足となる



共済・経営近代化委員会より

ver. 8

委員長 寺田信弘

第7回委員会

開催日時：2014年7月10日 19:00～

会場：たち花にて開催

出席者：上柿、中原、寺田、福本、中島

まず初めに、研修旅行の会計報告を中原専務理事が行いました。今回の旅行は、時期的に諸会の総会等で時期が重なり参加者が少なかったため、次回からは旅行時期を十分に検討して旅行等の行事を行うように企画することとしました。また経営近代化の事業として各組合員の困っていることを打開するためにアンケートを取り、その問題点をコンサルタント等と解決してゆく窓口（仮称 駆け込み寺）を開設する検討をしました。

第8回委員会

開催日時：2014年8月31日 10:00～

会場：和歌山マリーナにて開催

出席者：上柿、中原、寺田、福本

今回の委員会は、委員の懇親を深めるため、昨年より企画をしていました、船上委員会を開催しました。

経営近代化事業といたしまして、前回の委員会で議論しておりました（仮称 駆け込み寺）アンケートの実施について、再度協議し、アンケート内容・配布方法・配布時期等の議論をしましたが、意見がまとまらず、次回に持ち越すこととしました。後は、バーベキューをしたりして1日ゆっくりと委員会の懇親を深めました。



※日本建設業連合会のHPを開いて、刊行物・資料というところからダウンロードできるようになっています。177ページもある膨大な資料です。こんなものが世に出回ると思うと、正直頭が痛いですね（苦笑）

## <研修、見学会報告>

JFEスチール工場見学会報告 副理事長 中原一晃  
 奈良県鉄構建設協同組合では、6月27日(金)から28日(土)にかけて、賛助会員と合同の事業として、JFEスチール株式会社西日本製鉄所倉敷地区の工場見学会を兼ね、岡山への研修旅行を開催いたしました。

当日、晴天の中、早朝より大和八木駅前に集合しバスにて現地に向かいます。全員がバスに乗り込み、意気揚々と「さあ〜」って言う時に、上柿副理事長から悪魔の指示が。「工場見学が終わるまで禁酒!!」「え〜!!」ということで、せっかくのバス旅行の中、しばし酒なしで懇親を深めながら倉敷へ。

西日本製鉄所倉敷地区では原料の鉄鉱石から熱延鋼板・H形鋼・鋼矢板などを一環して生成しています。全長5km、全幅3.6kmと大和高田市の6割くらいの大きさが一つの会社です。敷地内には幅40m、10車線以上もある幹線道路が南北にあり、そこを「JFE専用のナンバー」をつけた、構内だけを走る車が行き来しています。製鉄の工程を説明するビデオを見せて頂いた後待望の見学です。まず、鉄鉱石・石灰が搬入される岸壁、「華麗なる一族」で有名になった高炉を見学しました。高炉でできた鉄鉄を構内線路で300tonが積めるトローポードカーで次工程に運ばれます。製鋼の作業のメインは溶銑中に酸素を吹き込んで炭素を除去する転炉です。10m以上もある釜から転炉する際には酸素を吹き込まれるため、5m以上もある火柱が立ち、圧巻です。精錬してできた「鋼」は圧延しやすい鋼片(スラブ・ブレード・ビームブランク)に鋳造されます。圧延の工程ではビームブランクを形鋼ミルの中を通り、熱せられたビームブランクが一気に走り抜けH型鋼に成形されていきます。これだけの施設が40年以上前に整備されたことには驚きでした。みんな、日頃たずさわっている鉄の生まれる様子に感銘を受けていました。

JFEスチール西日本製鉄所の後は湯郷温泉にて楽しい宴会で、盛り上がりました。次の日も備前長船刀剣博物館と備前焼とそして、キリンビアパーク岡山工場の見学です。キリンビアパークでは土曜のためラインは稼働していませんでしたが、工場で作ったばかりの「一番搾り」を試飲させて頂き、「これからは一番搾りしか飲まない」と絶賛があるほど盛況でした。

たった1泊2日でしたが賛助会員さんとも酒を酌み交わしながら、親睦を深める事ができた旅となりました。今回参加出来なかった方も次回には是非参加してくださいね



このバスで!



昼食会場にて



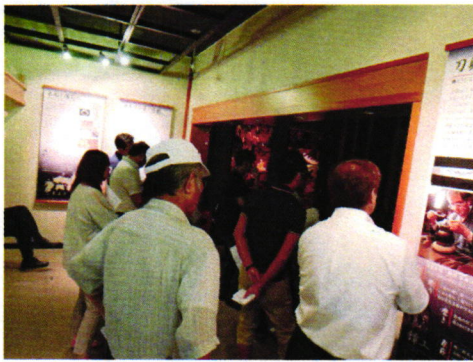
JFE 会議室にて製鋼工程の説明



JFE スチール見学棟前にて記念撮影



キリンビアパーク岡山にて



備前長船刀剣博物館見学

## 賛助会員コーナー

「株式会社アマダマシンツール」 大阪営業所切削部門

組合員の皆様、平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

アマダ・ソリューションセンター(伊勢原)では、お客様への最新情報発信や課題解決の場として、加工技術にポイントを置いた提案をさせていただいております。今回、鋼材業向け・鉄骨加工業様向け等のバンドソーHK650を紹介させていただきます。

新商品 HK650 型グローバルスタンダードマシン登場!

□ポストタイプ採用高速切断実現、

<生産性向上>

- ・ポストタイプを採用、高剛性設計による高速、高精度切断を実現しました。
- ・下降端検出装置によって材料のサイズにかかわらず、切断加工が終了すると自動で停止し、作業効率が向上します。

<ブレードの長寿命化>

- ・上部押え装置を標準装備、切断加工中に発生するびびりを抑制します。高速切断サポートするとともに、ブレード寿命も向上します。
- ・使いやすい集中操作パネル

□角度旋回45度、電動旋回

<マシンの操作を1カ所に集約しました>

- ・パイスの開閉、材料の送り、角度旋回の切込み設定など、操作パネルで全て行えます。

<簡単角度旋回>

- ・角度旋回も簡単ボタン操作、角度位置表示はデジタル表示で確認しやすくミスを低減します。

□搬入出電動リフトローラー装備

<搬入・搬出作業の容易化>

- ・搬入・搬出リフト電動駆動ローラーを装備
- ・ローラーの上下、材料の前進、後退などが容易に行えます。

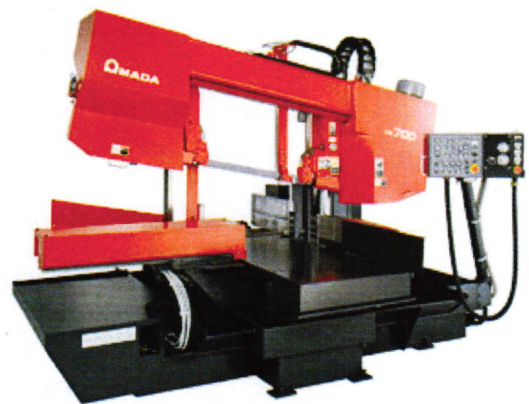
各種最新鋭機を取りそろえ、実演加工をご覧いただけます。ご多忙中のところ誠に恐縮ではございますが、この機会に是非ともご来場くださいますようお願い申し上げます。ご来場希望の方は、担当セールスまでご連絡ください。

出展予定機種

6BH-1000Ⅲ, HK-1000CNC, HG-1000, HB-1000

3DH-1000Ⅲ, 3DH-700Ⅲ, HK-700, HK-650, HK-400

3BC-300, CNCBW-150



写真はHK-700

(お問い合わせ先)

株式会社アマダマシンツール 大阪営業所

〒577-0012 大阪府東大阪市長田東 4-5-37

TEL06-6744-5800 fax06-6744-4436

担当 長谷川士郎

編集部より

賛助会員コーナーは、会社名50音訓順にて、お願いしております。よって、次号は乾重量様お願いいたします。尚、ご希望があれば、順序に関わらず、先行して掲載しますので、ご連絡よろしく願いいたします。

《発行：年4回》

春号・夏号・秋号・冬号

《ご意見・お問い合わせ》

奈良県鉄構建設業協同組合  
まで

奈良県鉄構建設業協同組合

【事務局】

奈良県橿原市十市町1037番地

TEL:0744-25-7519

FAX:0744-25-7493

E-mail:nara.sfa@kcn.jp

## 青年部コーナー

青年部新会長 井上貴成

8月23日(土)ポリテクセンター奈良で毎年行われています『親子ものづくり体験教室』が開催され、青年部会から講師として多数参加していただきました。御協力いただいた会員の皆様には感謝しております。今回は去年同様に動物の形のPLを用いて、置時計を作成していただきました。溶接は難しい作業ですが、体験を通して子ども達に少しでも“鉄”へ興味を持っていただき、将来、私達が誇りに思う仕事を知っていただけたと思います。

また、奈良県技能フェスティバルが今年も橿原運動公園にて、11月1日(土)、2日(日)の二日間行われます。去年同様に各鉄工所で作成した作品を持ち寄り、販売したいと思います。鉄構組合での参加事業ですので、皆様、作品提供のご協力、宜しくお願い致します。



溶接体験の様子



こんな恰好で

## 奈良支部長コーナー

奈良支部長 中嶋孝

今年度から支部長となりました大勝建設の中嶋です。今回から奈良支部の活動報告や、個人的な趣味、雑感やこだわり等を徒然なるままにこのコーナーを担当させていただきます。よろしくお願ひします。

皆さん、今お仕事で悩んでおられることは一体どの様なことでしょうか？また、各々で上手くいっていることなど、みんなで共有できることは何かありませんか？そんなリアルな生の声を気軽に情報交換しあえる場所であり、お互いがホンネで話し合うことの出来る支部会であり続けたいと考えております。

去る8月28日に、私の地元・天理の駅前商店街にある『ちゃんこ料理 飛鳥山』におきまして、今年度第1回目の支部会を開催しました。会議では今後の活動についての活発な議論となり、次回は年末に支部忘年会を開くことに決まりました！

次回も多数の皆様の参加を、お待ちしております！！



## 檀原支部長コーナー

檀原支部長 藤田英輝

今はもう秋。でも相変わらず皆様忙しいようですね。忙しにかまけて支部会が実施できていませんが、冬が来る前には実施したいと思います。美味しい肴と美味しいお酒で楽しい時間を過ごしたいですね。

さて、秋といえば「行楽の秋」。せっかく奈良に住んでいるのですから、仕事ばかりしていないでたまには名刹・古刹を訪れてみましょう。ということで檀原支部エリアのマイナー観光案内です。檀原神宮そばの久米寺にて10月19日(日)に「久米仙人まつり」が開催されます。久米仙人はその仙術で大和の山々を飛び廻っていたのですが、ある日、川で洗濯をする若い娘のふくらはぎに見とれて、うっかり神通力を失い空から落下してしまいます。普通の人間に戻ってしまった久米仙人は、ぼーっとした日々をすごしていたのですが、ある日都を造営する為に、役人から「おまえも元仙人なのだから、材木くらい飛ばして移動させられるだろう」と言われ、一発奮起して再度修行して、見事に山々から都の造営場所に材木を飛ばしてみせました。その話を聞いて喜んだ当時の天皇からご褒美として与えられた土地が今の久米寺らしいです。

ちょっとドジでエッチで憎めない、けど本気出したらやっぱりスゴイ久米仙人！ そういう人に私はなりたい！  
(笑)



スケベ顔です(笑)

久米寺 奈良県檀原市久米町 502

## 高田支部長コーナー

高田支部長 福本浩三

8月12~15日までの4日間徳島市で、阿波踊りが開かれました。長男が、徳島の大学院に在学中で2年前にも予定して、和歌山からフェリー予約して、いざ出発の夜中に電話があり、腸炎で入院することになり急遽予定変更で、地元の病院に連れて帰りました。祭りどころではありませんでした。今年も、14日出発で、また、なんかおこりはしないかと心配していたところ、今度は、スクーターで転倒して、血だらけとのこと。幸いたいしたことはなく一安心。嫁いわくお盆に、お墓参りさせんとあかんあと一言。そう言えば、自分自身も、暫く嫁任せにしていたことに、気がつきました。

さて、本題に戻りまして、4日間に、徳島市の人口の3倍から、4倍の観光客が訪れるらしいです。連と言う集団が、無数にあり、大学からお医者さん、企業あらゆるジャンルの団体が男踊り女踊りで練り歩きます。子供から、お年寄りまで。国内でも有名な祭りだけあって、感動させられて帰ってきました。



阿波踊りの様子